

あさひ西方見聞録

Vol. 15

題字：旭中学校 國澤 百加



▲『第15回学ぼう災』（旭中学校）

▲横内小学校避難所開設訓練

▲高ノ森の桜の手入れ

ごあいさつ

旭西部まちづくり推進会議
会長 天野 守章

私たちは、旭西部地域内の町内会・自治会・防災会・保育園・幼稚園や小中高の学校及び関係団体等と連携して、「安全で 安心して 住みよいまちづくり」を目指して活動している団体です。

令和4年度も、新型コロナウイルス感染拡大のため、令和3年度と同様に定例会・あさひ納涼祭の中止など活動が制限されましたが、その他の行事は感染拡大防止対策を行い、実施することができました。

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が減少傾向にありますので、状況を見ながら諸活動に積極的に取り組んでいく予定です。

皆様方のご理解・ご協力のほどよろしくお願い致します。

今号の主な内容

- 1 P ごあいさつ

- 2 P 第15回学ぼう災、高ノ森の桜の手入れ

- 3 P 横内小避難所開設訓練、高ノ森の桜の手入れ

- 4～6P 学校だより（横内小学校、旭小学校、旭中学校、高知商業高等学校）

- 7～8P 保育園・幼稚園から（塚ノ原保育園、もみのき幼稚園・めだか園）

- 9～11P 活動団体紹介（あさひのこどもを守る会、旭小青少協、横内小青少協、親子・地域ふれあい交流会、こども食堂とりごえ）

- 12P 塚ノ原駐在所
令和4年度の活動



第15回学ぼう災

～旭西部地域防災フェア～



令和4年11月20日に旭中学校にて第15回学ぼう災「旭中学校避難所開設訓練」を実施しました。今回の訓練は突然大災害が発生し旭中学校に避難してきた住民が、避難所開設のための安全確認・避難者の受入れ、居住場所への手続きを行うスタッフとして体験する実践訓練を行いました。参加者は災害発生時に旭中学校に避難する防災会・町内会等の防災担当者等の方を対象に、また、横内小学校を避難所として利用する地域の方も横内小学校での避難所開設訓練の際に参考とする目的で参加していただきました。

訓練当日、参加者集合後まず担当班の組み分けを行い、全員で玄関前の避難所用キーボックス（震度5弱で自動開錠）の位置と鍵の説明を行いました。その後、防災倉庫のカギを取り出し各班に必要な備品やマニュアルが保管されている防災倉庫に移動して、それぞれの役割を確認し、マニュアルを基に運営を行ないました。また、途中で役割を交代しながら運営方法に問題がないかの確認も含めた体験を行いました。このように、実際の災害時には最初に誰が避難所に集まるか分からないので、誰がどの役割になっても十分運営ができるようなマニュアルの見直しも兼ねた訓練を行うことができました。

訓練中は、いろいろな状況の避難者を想定したカードを基に避難してきた人の受付や居住場所の指示など受入れの流れの確認や、途中で火災が発生したなどのトラブルも想定した体験も行いました。

訓練終了後は、起震車で震度7以上の揺れを体験することもできました。

最後に、参加者が車座になり訓練の振り返りを行いました。各班に必要な人手やマニュアルの内容の見直し、資料や備品等について修正や見直しなどたくさんの意見がありました。今後のマニュアルづくりや訓練に反映していきます。

今回は、コロナの影響もなくなることを期待して、地域の皆さんが参加できる訓練を実施したいと思いますのでよろしくお願いいたします。

<旭西部防災連合会 事務局長 大久保 光洋>



受付班



安全確認班



居住班



令和4年度も計画に基づき、桜の手入れを年2回（6月5日、12月4日）実施しました。

桜の手入れでは、会員である地域住民・旭中学校・横内小学校PTA及び地域内にある福祉施設関係者等の皆様方と桜の木の周辺の草刈りや山道の清掃を実施しました。12月4日（日）は、時折小雨がパラつくあいにくの天候でしたが、時期的にこれが最後のチャンスとなり決行しました。それにも関わらず、旭中学校生徒会の皆さんが多数参加して下さったおかげで、とてもスムーズに作業を終えることができました。ご協力くださった皆様本当にありがとうございました。今後の高ノ森の桜は、一段ときれいな花を咲かせてくれることと思います。〈副会長 義澤 香奈〉



横内小学校避難所開設訓練

令和2・3年度の計画が中止となっていた「横内小学校避難所開設訓練」は、コロナ感染症対策の緩和を受けて、令和5年2月26日（日）の9：30～12：30に横内小学校で実施しました。

当日は、横内小学校を避難所として活用予定の自主防災会・町内会等の防災担当者、横内小学校学校長他先生及びその関係者を含む合計46名が参加しました。

訓練内容は、大災害発生時に横内小学校に避難してきた住民が、避難所開設のスタッフとして「安全確認班」（避難所として開設可否を確認）、「受付班」（避難者の受け入れ）、「居住班」（避難者の居住場所への誘導）の3班に分かれて、それぞれの役割をマニュアルに基づいて、交代して行動しました。

訓練終了後は意見交換を行い、そこで出された課題等については、今後の訓練に生かしていきます。

＜旭西部防災連合会 事務局長 大久保 光洋＞



受付班



安全確認班

居住班

高ノ森の桜の手入れ

令和4年12月の高ノ森の清掃ボランティアは、あいにくの天気でも気温も低かったですが、たくさんの方が参加してくれて作業が早く進んだので、雨の中でもできてよかったと思います。自分が特にうれしかったことは、旭中の生徒ボランティアがどんどん増えてきて、自分たちの先輩が植えた桜の木がどんどん後輩に受け継がれていっていることです。自分が旭中の生徒として、このボランティアに参加することは最後になりましたが、地域の方々と協力して清掃をした経験は自分にとって貴重なものになりました。ありがとうございました。〈旭中学校 藤澤かなう〉



令和4年12月に実施した高ノ森桜の手入れに参加させて頂きました。

朝からあいにくの雨で天気が悪い中での作業でした。

私は鎌で桜の雑草を刈る作業を行いました。鎌での草刈りは初めてで、汗だくになりながら苦戦してしまいました。感染対策のため、マスクを着用しての作業でしたが、旭中学校の皆さんも多数参加され、皆で和気あいあいと作業していました。しかし、作業の途中で雨が強くなり、最後まで草刈りをできず最後まで草刈りをしたかったと残念に思いました。

作業を通じて奉仕する気持ち良さを学びました。今後もこのような活動があれば積極的に参加していきたいです。

〈株式会社三葉〉



学校だより

地域内の4つの小・中・高等学校(横内小・旭小・旭中・高知商業高校)での取り組みを紹介します。



横内小学校

今年は「人権平和学習」の取組を紹介します！



これまでは学校図書館を活用した教育活動の取組を紹介することが多かったのですが、今回は「人権平和学習」を取り上げます。各学年の年間指導計画に沿って進めていますが、ここでは初めて取り組んだ2例を紹介します。

1つ目は「被爆ピアノ」に関する学習です。本校では、7月4日に高知空襲があったことを忘れないようにするために、毎年その近くの日に「平和学習と平和集会」を行っています。そのプログラムの中に、校外から講師を招いての講演会や学習会を組み込むことで、戦争の悲惨さを忘れないようにしましょう、また、平和の大切さを確かめ合い、自分たちの手で平和な世界・社会を作っていこうという思いを共有しています。ここ数年は、コロナの関係で、講師を招くことを断念してきましたが、3年ぶりにそれを復活させ、矢川光則さん(「被爆ピアノ巡回コンサート」の主催者。全国各地で1500回以上ものコンサートを実施)をお招きしました。矢川さんの講演だけでなく、広島から本校まで運んできた被爆ピアノを、児童代表が演奏させてもらう場面も設定してくれました。体育館で児童の生演奏を聴いていると、ピアノの所有者であったミサコさんや、そのピアノを受け継ぎ、今も懸命に取り組んでいる矢川さんの思いまでが、心に響いてくるようでした。

2つ目は「性の多様性」に関する学習です。講師に大久保暁さん[暁プロジェクト代表]をお招きし「ひとりひとりが違うから輝く～自分らしく生きるとは～」という演題でお話を伺いました。ここ数年、LGBTQという言葉を知る機会が増えましたが、それを正しく理解するために「好きになる性別」「体の性別」「思う(自分が認識している)性別」「表現する性別」という視点からの説明を受けました。トランスジェンダー、バイセクシュアル等の言葉は難しいかもしれませんが、この4つの視点からの分類・定義については、子どもたちもある程度、理解できたようです。女性の体で生まれたけれど、自身の意識は男性である、つまりトランスジェンダーである大久保さんが、実生活で困ったことを具体的に話してくださる場面では、子どもたちは身を乗り出して聴き入っていました。講演後は、代表児童が感想を述べ、大久保さんに感謝の意を伝えました。

国内のLGBTQの当事者の数は約1千万人であり、その割合は、左利きの人やAB型(血液型)の人のそれとほぼ同じ(10%程度)だと言われます。決して特別な人ではないのです。ただ、当事者の困り感が強いのも事実です。その悶々とした思いを打ち明けることができればかなり楽になります。他者から打ち明けてもらえる真の優しさと強さを併せ持つ子ども(心豊かな子ども)の育成を、

本校はこれからもめざしていきます。



休憩時間、大久保さんの周りは自然と人だかりが…



平和集会の最後、講師の矢川さんにお礼を述べる代表児童



広島から運んできたピアノを丁寧に調律する矢川さん。真剣そのものです。



旭小だより



5年ぶり実施の「安心パレード」

11月11日(金)、当校では、5年ぶりとなる「第14回旭地区安全・安心なまちづくり広報啓発パレード」が実施されました。これは旭地区の「あさひのこどもを守る会」の主催で、高知警察署や旭中、高知商業高校、横内小、各町内会等が参加し、地域の安全を守る啓発運動です。以前は持ち回りで高知商業、旭中、旭小の各吹奏楽部が演奏しながら関係者100名程で地域を練り歩いていましたが、コロナ禍で久しぶりとなった今年は、本校の企画委員会児童が啓発旗を持ち、その後ろから吹奏楽部25名が演奏しながら関係者と共に約30分地域を練り歩き、地域の安全を啓発していきました。



今年も子ども達は大満足！「あさひスマイルデイ」

11月20日(日)には、2回目となった「あさひスマイルデイ」が行われました。コロナ下で行事が縮小される中、3年前まで実施されていた「きららフェスティバル」に代わる子ども達を楽しませる行事を！というPTA役員さんの思いが詰まったものです。

「〇×クイズ」「似顔絵コンテスト」「ぼくのわたしのベストショット」「フォトモザイク」という手作り感満載の4つの催し物で、子ども達は楽しい時間を過ごすことができました。特に今年は40名を超えるお手伝いの保護者の方々が会場案内や誘導をしてくれ、スムーズな移動で子ども達は各場所を目いっぱい楽しんでいました。

「〇×クイズ」は子ども達の興味をそそるクイズに盛り上がり、「似顔絵コンテスト」では先生達を描いた多様な表現に笑みが漏れ、「ぼくのわたしのベストショット」では楽しかった日々を思い出し、「フォトモザイク」では、4000枚の児童達の写真から作った学校正門やワンピースの絵からPCで拡大して友人を探すのに興味が尽きませんでした。

各写真を提供して頂いた保護者の方々や、当日までの準備や、当日の運営、片付けなど、PTA役員さん、お手伝いの方々には多くのご尽力をいただきました。



体育館に響き渡った一生懸命の斉唱・演奏

2学期最大の全校行事「音楽会」が11月5日(土)に行われました。子ども達は9月より練習に取り組んできました。

各学年が練習してきた成果を思う存分に発揮した心に残る音楽会となりました。初めての音楽会となった1年生もかわいらしさとパワーを体育館中に降り注いでいました。学年が上がるにつれその成長の足跡も感じられました。昨年度は演奏だけでしたが、今年は歌も披露できました。どの学年も練習で培ってきたみんなの心が一つになった表現をしてくれました。子ども達の一生懸命な気持ちと姿が体育館中に広がった一日でした。

昨年同様、感染症対策として入れ替え制で行いましたが、保護者のみなさんの子ども達を見守る温かな眼差しの下、どの子もやりきった感いっぱい、音楽会を精一杯がんばり、楽しめたように思いました。

子ども達の健康管理や応援していただいた保護者の皆さんに感謝いたします。ありがとうございました。

〈 教頭 小海 将和 〉





旭中学校

「道徳参観日」を行いました

中学校では、従来、教科外の教育活動として行われていた「道徳」の時間にかわり、平成31年度から週1時間、「特別の教科 道徳」が実施されており、4つの視点からなる22の内容項目について、教科書をもとに授業をすすめています。今回「特別の教科 道徳」の学習の一端を保護者のみなさまにご覧いただく機会として、昨年度に引き続き「道徳参観日」を行いました。

当日は凍えるような寒い一日となりましたが、今年度最後の参観日ということもあり、多くの保護者のみなさまにご来校いただきました。中には教室にいる生徒と同じように、担当教員の授業展開に沿い、頷きながら考えを巡らせている方もいらっしゃるなど、保護者のみなさまにとっても興味深い時間になったようです。

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うために必要な要素のひとつとして、物事を広い視野でとらえ、多面的・多角的に考えることが求められています。特に、身近な存在である家族の思いや考え方に触れることは、道徳的な判断力、心情、実践意欲や態度を育むうえでも大きな動機付けになります。今回の「道徳参観日」を機に、家庭でも、自分と家族の考えの共通点や違いを話し合い、多様な価値観に触れることで自らのよりよい生き方を見つけていって欲しいと思います。



旭中学校公式ホームページのご案内

学校生活や学校行事の様子など、多彩な情報をリアルタイムで掲載しています。

地域のみなさまも、ぜひご覧ください

<https://sites.google.com/g.kochinet.ed.jp/asahi-j>



高知商業高等学校

～地域と共に成長～

サンプラザ塚ノ原店と共同開発した新商品が完成！

本校の2年社会マネジメント科地域実践コースとサンプラザ塚ノ原店が共同で開発した「華麗なる巻き寿司」が完成しました。

カレー風味の巻き寿司となっており、具材には高知県産の仁井田米、豚肉、茄子、山椒等を使用するなど高知県の魅力を巻き込んだ商品となっています。

現在、3月18日（土）・19日（日）に高知駅前旅広場で行われる第14回土佐の食1グランプリに向けて、サンプラザ塚ノ原店との共同開発会議を継続しています。皆様もぜひ、当日は会場にお越しいただき、「華麗なる巻き寿司」をご賞味ください。



保育園



幼稚園から

塚ノ原保育園



新型コロナウイルスが少し落ち着いてきて、いろいろな制限も緩和になりだした今年。様々な工夫をしながら、子どもたちと楽しく過ごしてきました。

第3保育期は、参観日に豆まき、ひなまつり会等たくさんの行事があります。ここ数年見送ってきた参観日も今年はい、たくさん成長した姿も見てもらうことができました。

そして2月。一大イベントです。2月3日、いよいよ豆まきの日がやってきました。

年長組は、保育園生活最後の豆まき。豆入れを作る時には、「早く鬼来んかなあ〜」「鬼と鬼ごっこしたい!!」と意気込んでいましたが、前日に鬼からの手紙が届くと「明日お休みしたい…」「お腹痛くなってきた」とすっかり弱気に。

当日、「自分の心の中にいる『泣き虫鬼』や、『怒りんぼ鬼』を追い出してね」の約束はどこへやら。鬼が登場すると、強気だったお友だちも全速力で逃げる逃げる!!しかし、泣きながらも一生懸命豆を投げていました。

最後は、鬼たちが「赤鬼と青鬼のタンゴ」を軽快に踊り、みんなと手を振ってお別れをしました。鬼と写真撮影もし、きっとみんなの心の中の追い出したい鬼も出て行ったことでしょう。

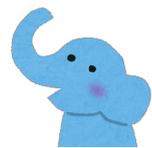
残り少ない今年度ですが、また子どもたちの成長した姿を見ながら、たくさんの思い出を作っていきたいと思います。

〈園長 藤本 紗知〉





もみのき幼稚園・めだか園



もみのき幼稚園では、森のようちえん活動と称し、自然体験活動を積極的に行っています。また、異年齢活動グループで保育をし遊びの中で学び、生きていくうえで大事だとされている非認知能力を高めています。

令和4年度より、外国人講師と一緒に自然体験を行う「ワールドタイム」をスタートしました。園の中だけでなく、自然の中で穏やかな時間を過ごし、英語を学ぶのではなく、様々な人とコミュニケーションを取るためのツールとして英語を使っています。英語で名前を呼び合い、自分の名前に反応して「Here!」と返事をしたり、動作を英語で覚えて体を動かし、ゲームも英語を使って行っています。「ワールドタイム」の日には英語を学ぶというより、子ども達の身近に英語があり、多言語が自然に耳に入ってくるという活動をしています。



簡単な挨拶や、天気、自分の気持ちなど英語を使え、英語を使うことを楽しんでいます。行事も外国人講師と共に過ごし、日本文化について知り、日本の良さにも気づき、活動を楽しんでいます。言葉だけでなく、多種多様に触れ、他を認める子を育て、自尊感情を高め、友だちも自分のことも大切にできる人に育ててほしいと願っています。

〈担当 田村 美穂〉



～旭西部地区～ 活動団体紹介

旭西部まちづくり推進会議と一緒に協力し合いながら、旭西部地区の住民の皆さんのための活動を行っている団体をご紹介します！



あさひのこどもを守る会



本会は、町内会・小中高・PTA・青少協・旭民児協・塚ノ原駐在所・交通安全協会塚ノ原分会等の多くの会員が、相互の活動調整、情報交換・共有化を図るため、定例会（3カ月に1回・第4火曜日）を開催し、定例総会は6月に開催するとともに、防犯パトロール（マイカーによる青色回転灯車）・児童の登下校時パトロール・街路灯・通学路での安全確保などの活動を行っています。

令和4年度も昨年に引き続いて新型コロナウイルス感染症が減少せず、定例会を中止した月もありましたが、活動の集大成でもある「第14回安全・安心なまちづくり広報啓発パレード」は、旭小学校吹奏楽部を先頭にコロナ感染症が減少傾向にあったことから、感染対策をとりソフト団地の多くの皆さんが見守る中で実施しました。

その他、毎月第3火曜日の夜間パトロール（青パト同行）、青パトによる雨天時を除く全登校日に旭・横内小児童下校時の通学路での見守り活動等を実施しました。また、交通安全協会塚ノ原分会（構成員14名）は、春・夏・秋の交通安全旬間、毎月20日県民交通安全の日、その他県警察本部からの要請による日、毎月15日（休日、土日は前後）塚ノ原駐在所前交差点での夜間指導、横内小学校児童の多く（約300人）が横断する通学路での交通指導（全登校日）、旭小学校付近での毎月第3火曜日の夜間パトロールなどに取り組んでいます。

こどもの見守り活動にご支援・ご協力の程よろしくお祈いします。

〈会長 長尾 達雄〉



旭小青少協

～みんなで楽しい遊びにチャレンジしよう～
(令和4年11月13日(日))

新型コロナウイルスにより3年ぶりにAブロック共同事業を行いました。

場所は、旭東小学校体育館 9校区（旭東小・旭小・行川小・朝倉小・朝倉第二小・鴨田小・神田小・横内小・鏡小）の共同事業です。当日は児童99名と青少協の皆さんで行いました。

朝から雨で大変でした。行事は午前中だけです。みんなで楽しい遊びにチャレンジする機会が、この3年間はない状態でした。小学生は体育館で大喜び。短い時間で物を作ったり、飛ばしたりして元気一杯過ごしてもらいました。ちなみに、遊びのプログラムは、シャボン玉・プーメラン・プラパン・紙飛行機・ダイヤ凧になります。



～第3回 フルーサンタのゴミ拾い～
(令和4年12月11日(日))

最近ゴミが減ってきております。

参加者は毎年親子・学校の先生、高知大学生、地域の方です。ただ草が両側に生えていて、草刈りが大変になってきています。

今回は、保育園児が魚を捕まえて、大はしゃぎ。普段は本宮川に入ることがないので、魚をつかまえることに必死でした。

協力してくださる方に頭が下がります。



〈旭小学校区青少年育成協議会 市川 月子〉

横内小青少協 ～こんにちは青少協です！～



まず、繰り返しになりますが、少し長いのでいつも通称名で「青少協（せいしょうきょう）」と呼んで頂いています。「青少協」は、高知市内の小学校区単位で組織されているボランティア団体で、おもにその地域に住む小学生や、中学生の健全育成に関わる校外での活動を、高知市教育委員会青少年・事務管理課と連携を密に取りながら、支援させて頂いています。

さて、本年度も昨年度と同じく定期に実施している行事がほとんど中止になり、子どもたちと交流が出来ず大変残念な年となりました。あわせて長年継続して行っている夏休み期間でのキャンプ事業も、昨年に続き柏島にて日帰りで「親子シュノーケリング体験」の活動を行うスケジュールを組んでいましたが、コロナ禍であった為やむなく中止となりました。そんな中、3年に1度高知市全域の青少協が合同で行う、「こどもまつり2022」が10月1日に開催出来ました。当日はアイスクリン販売を担当、気温も10月としては暖かく行列が最後まででき、大勢の来訪者の中で盛況のうちに完売しました。

「高知龍馬マラソン2023」では本年度は2月19日に3年ぶりに開催され、コース管理員としてPTA等と連携し10名で参加しました。沿道で3時間半ほどランナーの見守りや見学者や通行する車両の誘導等の地味な活動でしたが、友人・知人のランナーにも間近で応援もでき、終了後はことのほか達成感がありました。この行事は「保護者同士・大人同士の繋がり」が主となるのですが、毎年楽しみにしていただいている方々がいて大変感謝しています。

最後に、令和5年度も野外活動等を実施して行くことは少なからず難しい部分もあるかと思いますが、子どもたちの「笑顔」に繋がる事業をさらに継続していきたいと考えています。

〈横内小学校区青少年育成協議会 代表推進委員 会長 甲藤 浩之〉



親子・地域ふれあい交流会

ここ3年コロナ禍で行事が相次ぎ中止となる中、「何か集まる機会・にぎわいを♪」と、塚ノ原町内会青壮年部が中心となって実行委員会を立ち上げ、横内体育会・横内小学校青少年育成協議会の協力を得て、「子ども・保護者・地域の交流」を目的にドッジボール・スポーツ鬼ごっこ交流会が旭西部まちづくり推進会議主催で開催されました。

当日は横内小学校を中心に、子ども40名・大人20名の参加があり、体育館に歓声が響き渡りました。子ども達は勿論でしたが、それ以上に保護者のみなさんの歓声も大きく、地域力的一端を感じ、頼もしく思いました。

講師はドッジボール日本代表田中将人さん（34歳・塚ノ原町内会）と高知大学楽笑のみなさん。田中さんは横内小学校卒業生で、子ども達にドッジボールのルール・楽しさと共に「自分が楽しむことを見つけること。」の大事さを伝えていました。また、田中さん自身、少年期の公民館や夏祭り、地区民運動会など地域での体験が現在の活動に繋がっている部分は多いとのことで、併せて「地域との繋がり」についてもお話されました。

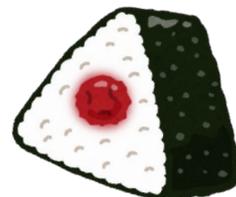
コロナ禍の制限も徐々に緩和されますが、行事再開に向けてハードルはまだまだ高い様に感じますが、今後に向けて手ごたえを感じる1日になりました。繋がりへの再構築に向けて1つずつ進めて行きたいと思えます。

〈旭西部まちづくり推進会議事務局長・横内小PTA副会長 大崎 博士〉





こども食堂とりごえ



「だれでも 自由に 利用できます。」

令和4年度は、地域の子どもたちが集まって、にぎやかに、楽しく夕食を食べてもらうとともに、地域住民も食べに来ていただいて、世代交流を図る「地域コミュニティの場」づくりのためのこども食堂も、コロナ感染症防止のため弁当配布や休業したりと、本来の目的を達成できない残念な1年間でした。

〈こども食堂とりごえ実行委員会会長 天野守章〉

令和5年6月以降の取組み（予定）

場 所 健康カフェとりごえ 高知市鳥越1-1（高知商業高校野球場バックネット下側）

開 店 毎月2回（第1・3月曜日）17時～19時

内 容 バイキング方式により各人が好きな食事ができるよう工夫しています。

負 担 こども 無料

※大人の方は寄付金として200円をいただいています。



○調理担当ボランティアの募集

参加する時間帯（13時～16時）・・・参加時間は自由です。

問合わせ 健康カフェとりごえ 担当 竹中

電話番号：088-856-6470





塚ノ原駐在所から

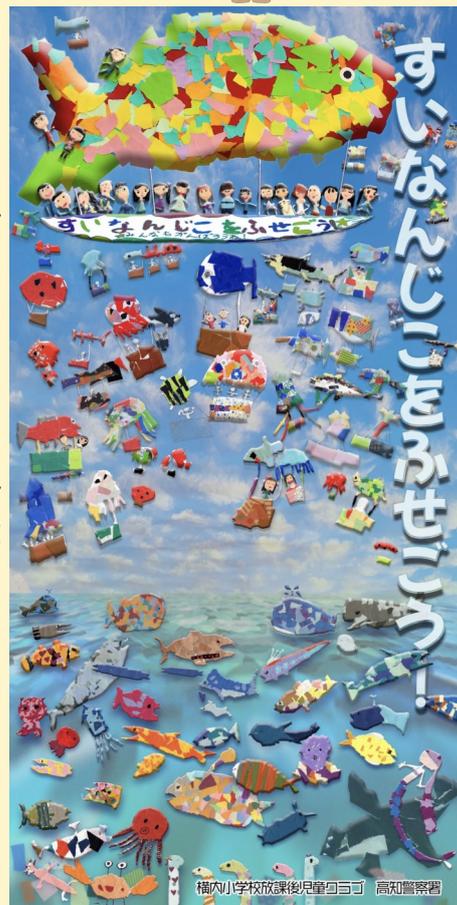


平素より高知警察署、塚ノ原駐在所への多大なご協力を賜り心より感謝申し上げます。

駐在所管内には鏡川が流れており、夏期の水難事故防止活動として4月には横内小学校の児童クラブの皆さんに描いてもらった「青空に子供達をたくさん乗せて浮かぶ魚の大気球の素晴らしい水難事故防止ポスター」を作成してもらい、学校、町内掲示板や土佐道路能茶山ビジョン、免許センターなどの行政電子掲示板、県警ホームページなどを活用した水難事故防止を広く県民の皆様と呼びかけていただきました。管内での水難事故発生は当然0件で、今後も同様の活動を住民の皆様と共に推進したいと存じます。

今後とも交通安全運動、全国地域安全運動など学校をはじめとする地区住民の皆様が積極的に参加していただき、当駐在所が地域の安全を更に拡充し「あなたのハートで安心安全の街」を実現できますよう、住民の皆様のご意見ご協力をお願いいたします。

〈塚ノ原駐在所 島田 幹広〉



3月	2月	1月	12月	11月	10月	9月	7月	6月	5月	4月
<ul style="list-style-type: none"> 定例会 	<ul style="list-style-type: none"> 横内小学校避難所開設訓練 定例会 	<ul style="list-style-type: none"> 定例会 	<ul style="list-style-type: none"> 高ノ森の桜の手入れ 	<ul style="list-style-type: none"> 定例会 第15回学ぼう災(旭中学校) 	<ul style="list-style-type: none"> 定例会 第8回旭ゼミナール (高知市保健所生活食品課動物愛護担当) 	<ul style="list-style-type: none"> 定例会 旭ゼミナール (交通安全協会塚ノ原分会副分会長) 	<ul style="list-style-type: none"> 定例会 	<ul style="list-style-type: none"> 定例会(歓迎会) 高ノ森の桜の手入れ 	<ul style="list-style-type: none"> 総会 	<ul style="list-style-type: none"> 定例会・あさひ西方見聞録発行

旭西部まちづくり推進会議
令和4年度の活動

定例会休会: 令和4年8月、12月

仲間どうぞ!

旭西部まちづくり推進会議では、学ぼう災(防災訓練)、あさひ納涼祭、桜の手入れなどの運営スタッフを募集しています。

興味のある方は、高知市地域コミュニティ推進課までお気軽にお問い合わせください。

あさひ西方見聞録 Vol.15
2023年(令和5年)4月発行

編集: 旭西部まちづくり推進会議
発行責任者: 天野 守章
連絡先: 高知市地域コミュニティ推進課
(Tel.088-823-9080)